



3月号
2011

頼成自治会総会開く

平成二十三年年度の頼成自治会総会が、二月十一日(火)の朝、頼成館において開催され、議長に八田嵩さんを選出したあと議事に入り、いかるぎ館、宮委員会助成金百万円などを盛り込んだ総額六百万円余(自治会・振興会予算の合算額)の今年度予算案が全会一致で可決されました。

前年度は二百万円計上された工事関連費用が計上されませんでした。これは来年度、いかるぎ館駐車場のアスファルト舗装を実施することに備えるためのものとのことで、二十四年度以降は、いかるぎ館一

帯がいつそうすつきりと整備されることになりそうです。

質疑応答では主に高島養豚場の臭気対策や完全移転に関する問題が取り上げられ、三月末までには完全に移転が完了する予定とのことでした。

引き続き宮委員会の総会が行われ、祭礼祭事費二十二万五千円を主とする総額六十二万円の予算案が可決されました。

なお、新役員の人事では林建二委員長の後任が満場一致で可決されました。終了後、和やかに直会が催され、情報交換や四方山の話に花が咲きました。

◆各行事の当番



平成23年度 頼成自治会・宮委員会 定期総会期開かれる

- 御忌 公文名常会
- 尼講 北 明常会
- お盆前宮清掃 下村各常会
- 例大祭前清掃 北 明常会

◆主な役員

- 頼成自治会委員長 林建二
- 副委員長 林正範
- 文化部長 山清一明
- 福祉部長 小森兼重
- 防火管理 高島誠市
- 農地水会計 林多均
- H.P.担当 八田昭夫
- 体育部長 林晃好
- 監事 同次長 八田榮勝
- 常会長 坂 東 林武雄
- 川原明 林浩二
- 公文名 林義勝
- 林神社氏子総代 八田了一
- 林建二 副委員長 三門明武士
- 委員会会長 林章造 齋藤繁範 開田哲弘
- 事務局 林憲治 開田昭夫 林英明 林章夫
- 委員 島 秀男 林正範 林友行

般老連高齢者学級 閉講式開く

平成二十二年年度の般老連高齢者学級の閉講式と記念講演が二月十日午後一時三十分から、般若農村改善センターで開かれました。一年間の活動を総括した後、記念講演に移り、「北陸の天神様かざり」と題して、南砺市福野在住郷土史家西村忠さんの講演がありました。

北陸特に富山県で流布している、正月に天神様を飾る風習について、従来、それは加賀藩主前田家の



高齢者学級閉

季節のうた

首振りて

啓蟄のごと

嬰の目覚め

林 香月子



弔事
林 しさい様
二月三日死去
享年数え年九十七歳
林 勇助様
二月七日死去
享年数え年九十七歳
謹んでご冥福をお祈り致します

祖先が菅原道真であるとの説が流布したこと由来するものとされてきた説に、別な角度から切り込み、天神様飾りが庶民に広がったのは明治以降であり、幕末の福井藩主松平春嶽が領民に天神画像を飾ることを奨励し、それが売薬さんを通じて富山に伝播(でんぱ)したのでないかとの説を、地道な研究の結果としてお話しされました。正月、何気なく飾っている天神様について新たな見聞を広める

高齢運転者標識の新しいデザインが決まりました!
平成23年2月1日(火)から始まります。

個人差はありますが、年齢が高くなるとどんな人でも身体的能力の衰えを感じるようになります。自動車の運転技術も少しずつ衰えていきます。

いう時に安全を確保する一手段として活用したいのが高齢運転者標識で、二月一日(火)から新しいデザインの高齢運転者標識を使用することになりました。付けていなくても違反にはなりません。七十歳以上の高齢者は普通自動車の前面と後面の両方にマークを付けて運転するように努めなければならない(道路交通法第71条の5第2項等)とされています。

ところで付けていると何かよいことがあるのでしょうか。一般の運転者がこの標識を付けた普通自動車に対して幅寄せや割り込みをすると、五万円以下の罰金、もしくは五千円から七千円の反則金を取られるのです。つまり、高齢運転者標識を付けることにより、周囲の自動車の運転者はあなたを運転する自動車が安全に通行できるように配慮しなればならなくなるのです。事故は起こしても起こされても、貴方だけでなく家族にも大きな負担をかけることになりません。

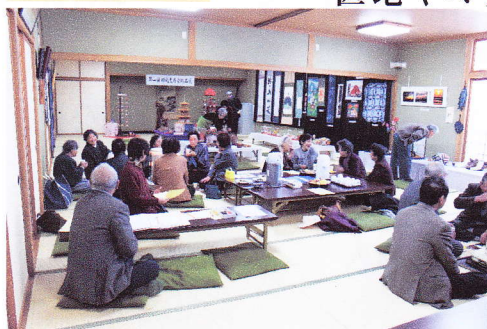
今までのマークに比べて何となく若々しさも感じさせる新マーク、ぜひ付けて安全運転に努めましょう。
運転免許試験場やホームセンターで販売。一枚四百五十円。

プロ並みの力作多数展示
第一回光寿会会員作品展開く

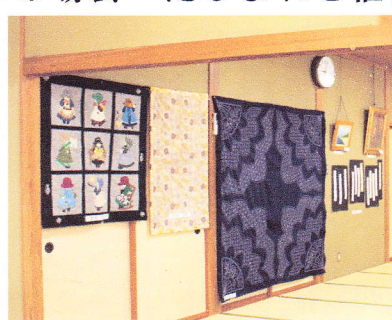
少し肌寒いながら快晴の好天に恵まれた二月十六日、光寿会の初めての試みで



外から訪れられた方々も
あり会場は終日賑わいま
した。



この場合、たしまれさ催開の共催で
ある会員作品展が浮世亭と
かるぎ館和室には会員から出展された七十点あまりの力作が展示されました。余暇を活かした趣味の作品とは言いながら、中には玄人はだしの見事な作品もありました。会員はもちろん会員以外の方々や地区の



木 鷗
「やっぱりかあ」。誰もが思っていたことが、とうとう現実のものとなりました。大相撲の八百長です。「八百長はない、絶対にない」というだけでは何の解決にもならない。一時的に逃げることはできても、本当の相撲界を考えてみた場合、避けては通れない。相撲界は、何らかの形で過去にけじめをつけなくてはならない。これは今から三十年近くも前、当時NHKの相撲解説でおなじみだった元関脇、玉の海梅吉さんが、インタビュで語った言葉です。その玉の海が一度だけ情に負けて出羽湊相手に八百長相撲をしたことを告白しています。非難を覚悟の上であえて八百長を明かしたのは、同年の親友双葉山が時津風理事長時代に、八百長追放を「自分の時代に、自分の手でなんとかしたい」と死ぬまで言い続けたことを忘れられなかったためだと話しました。その後相撲関係者から様々な有形無形の圧力があつたが、玉の海さんは言を翻すことなく、インタビュの四年後に亡くなりました。まさしく八百長はあつたのです。当時黙殺された玉の海さんの言葉を遺言と思ひ、いまこそ角界の方々の猛反省を促したいものです。

ご案内

平成二十三年度
光寿会定期総会
時 三月十日(木曜日)午前九時三十分
所 農村改善センターいかるぎ館
会費 千円
講話 浄光寺住職 吉沢 邦麿 師
総会が終了したあと、懇親会を行いますので車は遠くください。年に一度全会員が一堂に会する機会です。誘い合わせぜひご参加下さい。

次回は
3月16日
(水)です

第三回スカット・羽根っこ
ゲーム大会。10時頃よりは
じめます。

結構たのしいですよ。2時
間ほど時間あ
ったらぜひ来
てみてください。

午後は1時
半から観無量
寿経の書写を
しています。
筆ペン一本
ご持参くださ
い。 昼食の出前も実費でお世
話しています。

